

固体廃棄物貯蔵庫第11棟の計画概要 及びコンクリートプラント設置

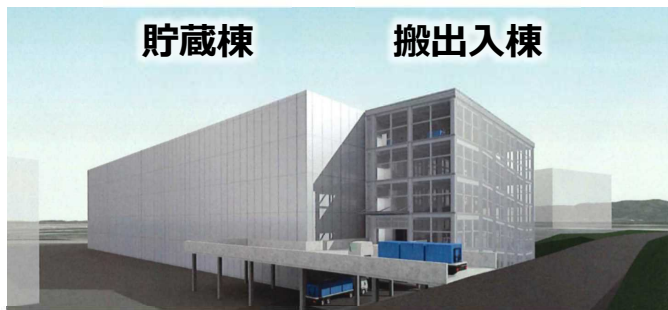
2024年12月26日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

固体廃棄物貯蔵庫第11棟 計画概要

- 固体廃棄物の屋外一時保管解消に向けて，固体廃棄物貯蔵庫第11棟の設置を進める。
- 保管容量は約11.5万m³であり，瓦礫類や焼却灰等を保管する計画。

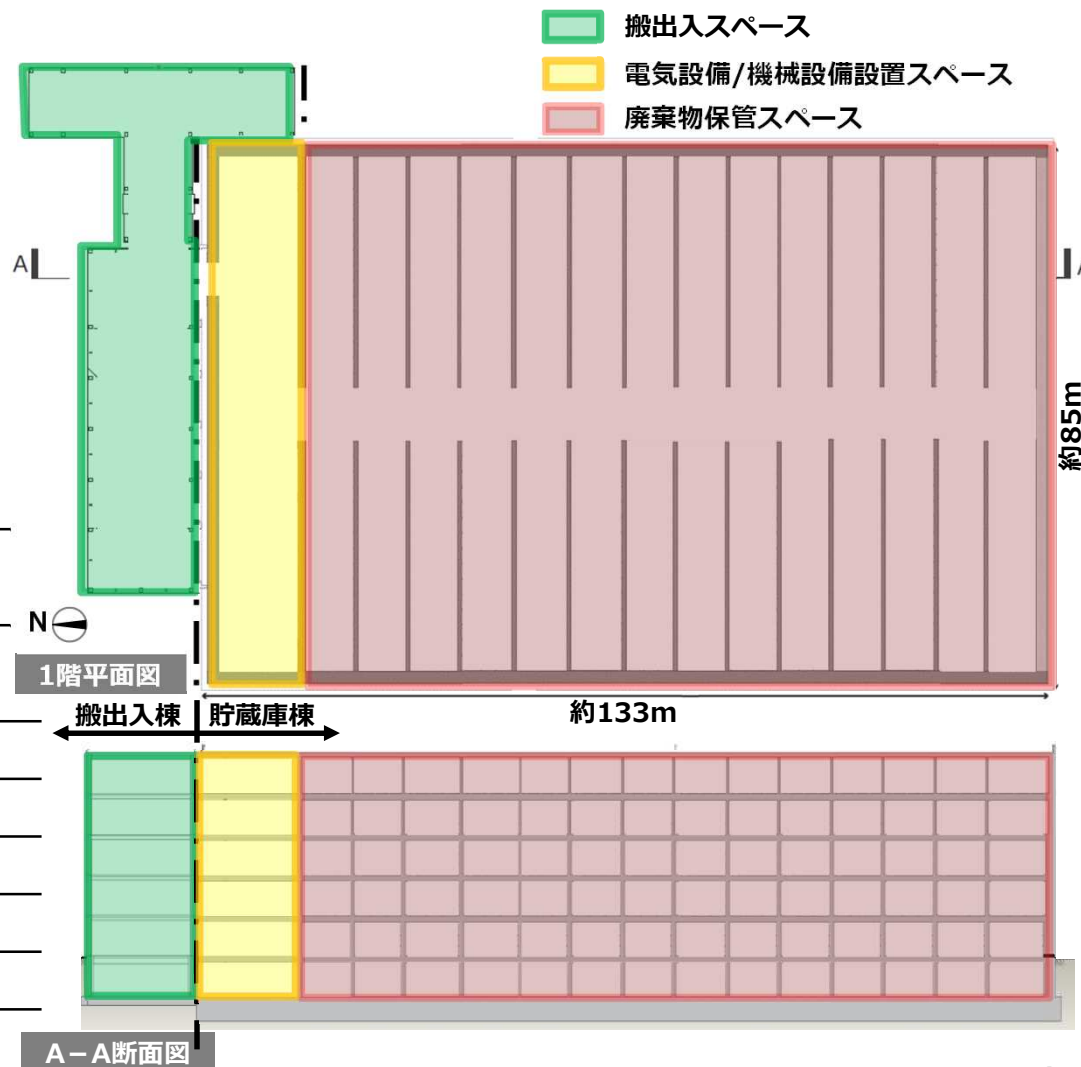


※上図の搬出入棟にも外壁が設置されるため
外から建屋内部が見えることはない。

貯蔵棟 建物諸元

構造形式	貯蔵棟：SC造（鋼板コンクリート造） 搬出入棟：S造（鉄骨造）
建築面積	約12,700㎡ (約85m×約133m)
延床面積	約79,500㎡
階層	地下1階+地上5階
建物高さ	地上33m
廃棄物保管量	約11.5万m ³
コンクリート量	約13万m ³

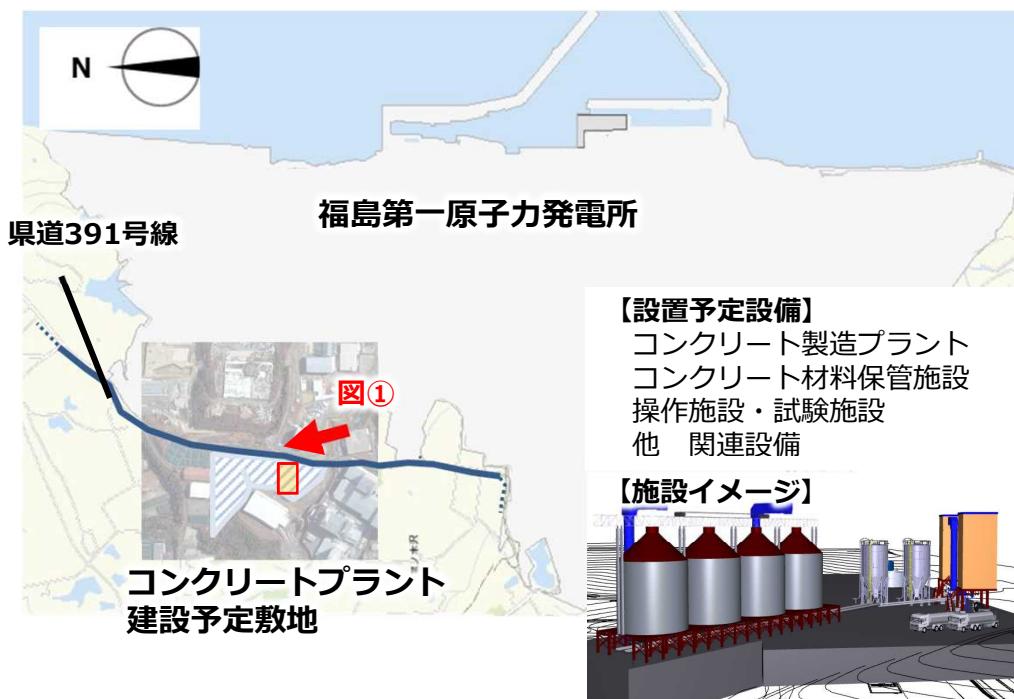
※今後の設計進捗により変更の可能性あり。



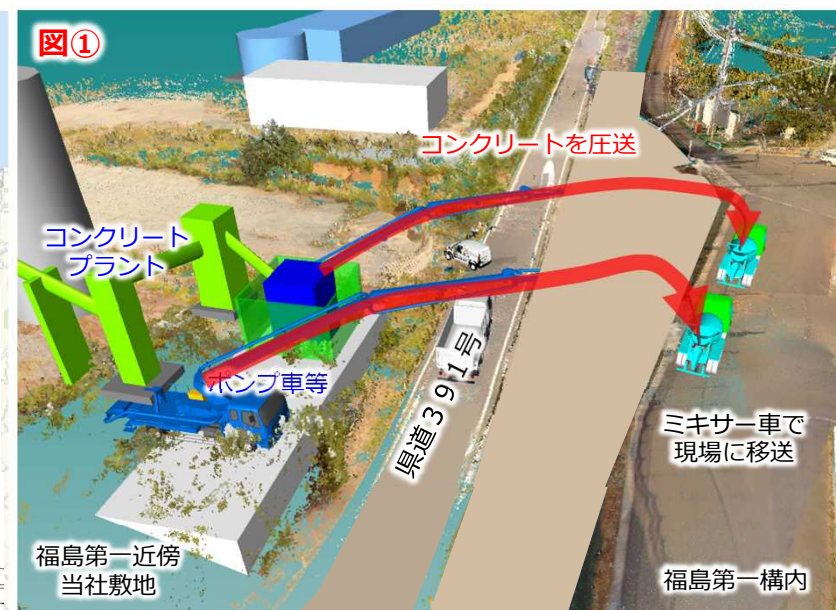
コンクリートプラントの設置計画

- 固体廃棄物貯蔵庫第11棟を始めとする廃炉関連施設の建設に向けて、建設工事を円滑に進めるため、福島第一原子力発電所構内近傍の当社敷地に、コンクリート製造を行う新たなプラントを設置する計画を進めている。
- コンクリート供給の際には、コンクリートプラントの敷地内に設置したポンプ車等から、県道391号線を越えて構内へコンクリートを圧送する*。

* コンクリート供給方法について関係箇所との調整及び協議を完了している。



敷地配置図



コンクリート供給方法のイメージ

スケジュール



- 固体廃棄物貯蔵庫第11棟のコンクリート基礎工事に向けて、2025年2月からプラント設置工事を開始する予定。
- 品質確認試験や試運転を経て、2026年度にコンクリート供給の本格運転を目指す。

